

龍谷大学
大学院
文学研究科紀要

第36集

2014年度

目次

〔論文〕

島地大等と時代思潮……………	川元惠史……………	(一)
親鸞『見聞集』の文献的意義……………	西河唯……………	(一六)
北宋時代の解額……………	松野美貴……………	(三〇)
島地黙雷と明治真宗教学史……………	内手弘太……………	(三七)
真宗における他作自受の問題について……………	伊藤藤雅……………	(六)
——親鸞の因縁観より——		
「便同弥勒」「諸仏等同」思想の研究……………	日下貴行……………	(七)
能化時代初期における十劫久遠論の研究……………	岩田恒……………	(九)
——月笠師を中心に——		
蘇我氏再考……………	古川貴和子……………	(二〇)
——稻目・馬子の対外意識と仏教——		
中世における近江堅田と諸勢力の動向……………	渡邊慶一郎……………	(二六)
——湖上の権益をめぐって——		
定家の「野外柳」の歌をめぐる……………	溝端悠朗……………	(四)
——定家の作意と後鳥羽院の解釈——		

〔課程博士論文要旨〕

親鸞の『十住毘婆沙論』「易行品」受用の研究……………	桑原昭信…(一五)
「タスケタマヘ」の総合的研究……………	能美潤史…(一六)
中世文学に見られるカミの享受……………	吉田唯…(一七)
東密と台密の相互影響から見た受容と研鑽の展開……………	鍵和田聖子…(一八)
——事相・教相両側面からの討究——	

〔論文〕

A Case Study of the Marriage Ritual in a Oraon Buddhist Community in Bangladesh	Shantu Barua … (1)
『中辺分別論』における田成美性の sad-asat-tattva 再考……………	Vo Thi Van Anh … (27)
介護老人福祉施設における介護職員の日常的なストレスとその対応……………	伊東秀章…(43)
『宋西事案』小考……………	藤本匡…(59)
ガンダーラ仏教図像にみられる儀礼表現の研究……………	濱本彩萌…(75)
——「結婚式」の場面を中心として——	
中国唯識における如来蔵思想の研究……………	李子捷…(91)
——『楞伽経』の受容を中心として——	
スリランカにおける在家者による宗教教育……………	横尾明親…(107)
——daham pāsai (法の学校)の調査を通して——	

欺瞞性認知とコミュニケーション・スキルとの関連性について……………小田理未…(123)
——恋愛場面における欺瞞的コミュニケーションに着目して——

青年期における現実自己が抱く劣等感について……………川合綾香…(147)
——理想自己との比較・他者比較の観点から——

日本版新個人的神話尺度の信頼性と妥当性の検討……………室屋賢士…(163)

Charity in the United States……………亀井綾子…(185)
: Philanthropy as a Means to Individual Empowerment

〔課程博士論文要旨〕

システムズアプローチのトレーニングに関する研究……………赤津玲子…(210)

ビハーラ活動における臨床心理学的考察……………伊東秀章…(218)

ロマン派詩人G.G.Byronの逸脱と変容……………良田玲子…(227)
——『醜男変身譚』の比較分析——

〔彙報〕

二〇一三年度大学院文学研究科修士論文題目一覧……………(一九)

二〇一四年度大学院文学研究科開講科目一覧……………(一九四)

二〇一三年度後期～二〇一四年度前期文学研究科院生の研究活動……………(二〇三)

大学院文学研究科課程博士学位取得者一覧……………(二〇〇)

『龍谷大学大学院文学研究科紀要』への投稿について……………(三三)

龍谷大学大学院文学研究科紀要内規……………(三四)

二〇一三年度

大学院 文学研究科修士論文 題目一覧

真宗学

- 鹿島 涼 親鸞における信仰的実存の意義
- 中村 恵明 親鸞における「三心」についての研究…法然・隆寛を背景として
- 塚原 義明 「往生浄土」について
- 安藤 愛 浄土教における往生別時意の研究
- 岩田 恒 能化時代初期における十劫久遠論の研究…月笠師を中心に
- 内手 弘太 島地黙雷と明治真宗教学史
- 武田 真応 親鸞と門弟…高田教団の原点をさぐる
- 梨本 雄哉 初期佛光寺教学の研究…阿佐布門徒・了海の「他力信心聞書」と「還相回向聞書」を中心
- 西澤 傑 真宗カウンセリングの研究…西光義敵の法中心カウンセリングに学ぶ
- 舟谷 真弥 野々村直太郎『浄土教批判』をめぐる一考察
- 毛利 真之 親鸞における救済思想…聞名を中心に

伊藤 雅玄

真宗における他作自受の問題について…親鸞の因縁観より

日下 貴行

「便同弥勒」「諸仏等同」思想の研究

谷 治 暁

真宗における社会活動の根拠について…慈悲の考察と近代の社会実践論をめぐる

仏教学

ティンマーウー

ミャンマー仏伝図の研究…「出家」の場面を中心として

平 法子

維摩経変相図の研究…隊列表現を中心として

濱本 彩萌

ガンダーラ仏教図像にみられる儀礼表現の研究

李 子捷

中国唯識における如来蔵思想の研究…『楞伽経』の受容を中心として

横尾 明親

スリランカ仏教における出家者と在家者の関係…dahan pasai (法の学校)を通して

哲学

上田 華子

カントにおける現象と物自体

武田 恭平

ルソーの「一般意志」論

教育学専攻

(教育学領域)

劉 坤

中国高等教育における日本語教材の分析：『新編日語』と『新編日語』（改訂版）との対比を
通して

国史学・日本史学

綿野 歩 テレビゲームによる攻撃性への影響

池田光佑 古代における喪葬儀礼と遊部の研究

新平直彦 無紋銀銭の再検討：古代貨幣の祭祀性

浅井隆宏 統帥権独立制度の運用に関する一考察：干犯論
争へ至る道程の再考

上杉麻唯 妹尾義郎について

奥本裕希 田沼意次の権力形成過程についての一考察

河上まどか 占領下の歴史教育改革：国定教科書『くにのあ
ゆみ』と神話

熊井亮介 墳丘形態から見た前方後方墳の再検討

児玉祥吾 貞享改暦をめぐる幕府と朝廷の動向：渋川春海
と土御門泰福の活動実態

古川貴和子 蘇我氏再考：稲目・馬子に見られる対外意識を
中心として

三亀由季 中世禅宗寺院の経営実態：大徳寺を中心に

盛 智照 法然浄土教の倫理とその歴史性：「建永の法難」
理解を通して

渡邊慶一郎 中世における近江堅田と諸勢力の動向：湖上の
権益をめぐる

臨床心理学

小田 理未

欺瞞性認知とコミュニケーション・スキルの関
連性について：恋愛場面における欺瞞的コミュ
ニケーションに着目して

川合 綾香

青年期における現実自己が抱く劣等感につい
て：理想自己との比較・他者比較の観点から

鈴木 絹世

青年期における通過儀礼における個人的意味づ
けと親子関係の距離

田中 智之

治療関係の形成を評価する：システムズアプロ
ーチの視点からの一考察

張田 ようこ

大学生が認知する両親との関係性と心理的健康
に関する研究

武藤 有佑

特別養護老人ホームにおける介護職員の死への
意識について

室屋 賢士

日本版新個人的神話尺度の信頼性と妥当性の検
討

東洋史学

清水良紀

マムルーク朝末期の社会：ズールとアラブ遊牧民の活動の分析を通して

吉竹宏騎

宋元時代の黄河治水策について

越間将平

F.Scott Fitzgerald and the American Dream: Through The Great Gatsby and The Love of The Last Tycoon

日本語日本文学

ミコミハエル

王朝女流日記文学における「待つ女」の特徴…『蜻蛉日記』の道綱母を中心にして

水谷俊信

『エソポのハブラス』の原典的研究
武者小路実篤「愛と死」論

内田さとみ

言霊倒語説を中心とした富士谷御杖の言語思想について

佐藤晴

田村俊子「あきらめ」論

溝端悠朗

後鳥羽院と定家の秀歌観の相違…—評価の分かれた歌をめぐる—

英語英米文学

川田泰志

A Study of Richard Wright's Rite of Passage

亀井綾子

Charity in the United States

二〇一四年度

大学院 文学研究科 開講科目一覽

真宗学専攻

真宗学特殊研究 A

那須 英勝

※ K-GURS 提供科目
※ 大学院実践真宗学研究科と
合同開講

真宗学特殊研究 B

那須 英勝

真宗学特殊研究 A

内藤 知康

真宗学特殊研究 B

内藤 知康

真宗学特殊研究 A

ヒロタ デニス

真宗学特殊研究 B

ヒロタ デニス

真宗学特殊研究 A

林 智康

真宗学特殊研究 B

林 智康

浄土教理史特殊研究 A

川添 泰信

浄土教理史特殊研究 B

川添 泰信

浄土教理史特殊研究 A

藤堂 俊英

浄土教理史特殊研究 B

藤堂 俊英

真宗学演習

那須 英勝

※ 修士課程

真宗学演習

鍋島 直樹

※ 修士課程

真宗伝道学演習

深川 宣暢

※ 修士課程・博士後期課程

真宗教学史演習

龍溪 章雄

※ 修士課程・博士後期課程

浄土教理史演習

川添 泰信

※ 修士課程・博士後期課程

真宗学文献研究 A

高田 文英

真宗学文献研究 B

高田 文英

真宗学文献研究 A

井上 善幸

真宗学文献研究 B

井上 善幸

真宗学文献研究 A

藤 能成

真宗学文献研究 B

藤 能成

真宗学文献研究 A

殿内 恒

真宗学文献研究 B

殿内 恒

真宗学文献研究 A

武田 晋

真宗学文献研究 B

武田 晋

真宗学文献研究 A

那須 英勝

真宗学文献研究 B

那須 英勝

伝道学特殊研究 A

杉岡 孝紀

伝道学特殊研究 B

鍋島 直樹

真宗伝道学特殊研究

深川 宣暢

仏教学専攻

仏教学特殊研究

藤丸 要

※ 文学部と合同開講

野呂 靖

仏教学特殊研究	桂 紹隆	
仏教学史特殊研究A	淺田 正博	
仏教学史特殊研究B	淺田 正博	
仏教学史特殊研究A	宮治 昭	
仏教学史特殊研究B	宮治 昭	
仏教文化学特殊研究A	宮治 昭	
仏教文化学特殊研究B	宮治 昭	
インド哲学特殊研究A	本多 至成	※文学部と合同開講
インド哲学特殊研究B	本多 至成	※文学部と合同開講
インド哲学特殊研究	桂 紹隆	
仏教学演習	藤丸 要	※修士課程
仏教学演習	入澤 崇	※修士課程・博士後期課程
仏教学演習	芳村 博実	※修士課程・博士後期課程
仏教学演習	能仁 正顕	※修士課程・博士後期課程
仏教学演習	楠 淳澄	※修士課程・博士後期課程
インド哲学演習	若原 雄昭	※修士課程・博士後期課程
仏教学文献研究 (サンスクリット)A	谷 貞志	※文学部と合同開講
仏教学文献研究 (サンスクリット)B	谷 貞志	※文学部と合同開講
仏教学文献研究 (パ ー リ)A	青原 令知	

仏教学文献研究 (パ ー リ)B	青原 令知	
仏教学文献研究 (チベット)A	三谷 真澄	※文学部と合同開講
仏教学文献研究 (チベット)B	三谷 真澄	※文学部と合同開講
仏教学文献研究 (漢文)A	道元 徹心	
仏教学文献研究 (漢文)B	道元 徹心	
仏教学文献研究 (漢文)A	長谷川岳史	
仏教学文献研究 (漢文)B	長谷川岳史	

哲学専攻

哲学特殊研究II A	小林 道夫	※文学部と合同開講
哲学特殊研究II B	小林 道夫	※文学部と合同開講
倫理学特殊研究II A	丸山 徳次	※文学部、大学院実践真宗学 研究科と合同開講
倫理学特殊研究II B	丸山 徳次	※文学部と合同開講
宗教学特殊研究I A	高田 信良	※文学部、大学院実践真宗学 研究科と合同開講
宗教学特殊研究I B	高田 信良	※文学部、大学院実践真宗学 研究科と合同開講

宗教学特殊研究Ⅰ B

高田 信良

※文学部、大学院実践真宗学
研究科と合同開講

教育学演習

松浦 善満

※修士課程・博士後期課程

哲学演習

丸山 徳次

※修士課程・博士後期課程
※修士課程・博士後期課程

異文化間教育学演習

林 美輝

※修士課程

宗教学演習

高田 信良

哲学文献研究Ⅱ A

小林 道夫

哲学文献研究Ⅱ B

小林 道夫

教育学文献研究 A

小島 勝

教育学専攻

教育哲学特殊研究 A

川村 覚昭

教育哲学特殊研究 B

川村 覚昭

宗教教育学特殊研究 A

海谷 則之

宗教教育学特殊研究 B

海谷 則之

教育学特殊研究 A

松浦 善満

教育学特殊研究 B

松浦 善満

教育行政学特殊研究 A

竺沙 知章

教育行政学特殊研究 B

竺沙 知章

生涯教育学特殊研究 A

林 美輝

生涯教育学特殊研究 B

林 美輝

異文化間教育学特殊研究 A

小島 勝

異文化間教育学特殊研究 B

小島 勝

学校経営学特殊研究 A

小島 弘道

弘道

発達心理学特殊研究

志波 泰子

教育心理学特論

郷式 徹

障害者(児)心理学特殊研究

滋野井一博

学校心理学特殊研究

郷式 徹

学校カウンセリング実習

吉川 悟

学校カウンセリング特殊研究

児玉 龍治

心理教育アセスメント論

渡邊 静代

心理教育アセスメント実習

渡邊 静代

臨床心理学専攻

東 豊

臨床心理学特論

森田 喜治

臨床心理学専攻

臨床心理学特論

東 豊

臨床心理面接特論	吉川 悟
臨床心理査定特論	東 豊
臨床心理基礎実習	武田 俊信 滋野井一博
臨床心理実習	吉川 悟 武田 俊信 赤津 玲子 寺井さち子
投映法特論	東 豊 森田 喜治 滋野井一博 児玉 龍治
心理療法特論	皆藤 章 寺井さち子
学校臨床心理学特論	内田 利広 児玉 龍治
グループアプローチ特論	吾勝 常行
臨床心理地域援助特論	伊藤 正人
心理学研究法特論	吉川 悟
臨床心理学研究法特論	赤津 玲子
心理統計法特論	寺井さち子
人格心理学特論	東 豊
学習心理学特論	森下 高治
社会病理学特論	赤津 玲子
家族心理学特論	下村 陽一
人間関係学特論	

※文学部と合同開講

精神医学特論	友久 久雄
老年心理学特論	赤津 玲子
障害者児心理学特論	滋野井一博
精神薬理学特論	上床 輝久
学校カウンセリング特殊研究	児玉 龍治
学校カウンセリング(実習)	吉川 悟
臨床心理学演習 I	吉川 悟
臨床心理学演習 I	武田 俊信
臨床心理学演習 I	東 豊
臨床心理学演習 I	吾勝 常行
臨床心理学演習 I	森田 喜治
臨床心理学演習 I	寺井さち子
臨床心理学演習 I	滋野井一博
臨床心理学演習 I	児玉 龍治
臨床心理学演習 II	吉川 悟
臨床心理学演習 II	武田 俊信
臨床心理学演習 II	東 豊
臨床心理学演習 II	吾勝 常行
臨床心理学演習 II	森田 喜治
臨床心理学演習 II	寺井さち子
臨床心理学演習 II	滋野井一博
臨床心理学演習 II	児玉 龍治

※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程・博士後期課程
 ※修士課程
 ※修士課程
 ※修士課程

臨床心理学演習III	吉川 悟	※博士後期課程	近世史特殊研究A	谷山 正道	※文学部と合同開講
臨床心理学演習III	武田 俊信	※博士後期課程	近世史特殊研究B	谷山 正道	※文学部と合同開講
臨床心理学演習III	東 豊	※博士後期課程	近代史特殊研究A	黒岩 康博	※文学部と合同開講
臨床心理学演習III	吾勝 常行	※博士後期課程	近代史特殊研究B	黒岩 康博	※文学部と合同開講
臨床心理学演習III	森田 喜治	※博士後期課程	日本仏教史特殊研究A	上島 享	※文学部と合同開講
臨床心理学演習III	寺井さち子	※博士後期課程	日本仏教史特殊研究B	上島 享	※文学部と合同開講
臨床心理学特殊研究I	吉川 悟		古代史演習	平林 章仁	※修士課程・博士後期課程
臨床心理学特殊研究I	武田 俊信		中世史演習	吉田 賢司	※修士課程・博士後期課程
臨床心理学特殊研究I	東 豊		近世史演習	山本 浩樹	※修士課程
臨床心理学特殊研究II	吉川 悟		近代史演習	藤原 正信	※修士課程・博士後期課程
臨床心理学特殊研究II	武田 俊信		日本仏教史演習	赤松 徹眞	※修士課程・博士後期課程
臨床心理学特殊研究II	東 豊		日本仏教史演習	中川 修	※修士課程・博士後期課程
臨床心理学特殊研究III	吉川 悟		考古学演習	國下多美樹	※修士課程・博士後期課程
臨床心理学特殊研究III	武田 俊信		日本史学文献研究A	吉田 賢司	※2013年度以前入学生受講可
臨床心理学特殊研究III	東 豊		日本史学文献研究B	吉田 賢司	※文学部と合同開講
臨床心理学文献研究	児玉 龍治		日本史学文献研究A	山本 浩樹	※2013年度以前入学生受講可
日本史学専攻			日本史学文献研究B	山本 浩樹	※文学部と合同開講
古代史特殊研究A	木本 好信	※文学部と合同開講			
古代史特殊研究B	木本 好信	※文学部と合同開講			
中世史特殊研究A	元木 泰雄	※文学部と合同開講			
中世史特殊研究B	元木 泰雄	※文学部と合同開講			

日本史学文献研究 A	松倉文比古	※2013年度以前入学生受講可	文化財学特殊研究 A	梶谷 亮治	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	松倉文比古	※2013年度以前入学生受講可	文化財学特殊研究 B	梶谷 亮治	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	藤原 正信	※2013年度以前入学生受講可	東洋古代史特殊研究 A	田中 俊明	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	藤原 正信	※文学部と合同開講	東洋古代史特殊研究 B	田中 俊明	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	嘉戸 一将	※2013年度以前入学生受講可	東洋古代史特殊研究 A	小南 一郎	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋古代史特殊研究 B	小南 一郎	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 A	濱田 正美	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 B	濱田 正美	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	前田 一郎	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 A	富谷 至	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	前田 一郎	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 B	富谷 至	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 A	杉山 正明	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 B	杉山 正明	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	國下多美樹	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 A	間野 英二	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	國下多美樹	※文学部と合同開講	東洋中世史特殊研究 B	間野 英二	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	國下多美樹	※文学部と合同開講	東洋近世近代史特殊研究 A	村上 衛	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	國下多美樹	※文学部と合同開講	東洋近世近代史特殊研究 B	村上 衛	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋近世近代史特殊研究 A	船山 徹	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋近世近代史特殊研究 B	船山 徹	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋古代史特殊研究 A	佐藤 智水	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 B	嘉戸 一将	※文学部と合同開講	東洋古代史特殊研究 B	佐藤 智水	※文学部と合同開講
日本史学文献研究 A	山田 誠	※文学部と合同開講	東洋中世史演習	江村 治樹	※修士課程・博士後期課程
日本史学文献研究 B	山田 誠	※文学部と合同開講	東洋中世史演習	江村 治樹	※修士課程・博士後期課程
日本史学文献研究 A	山田 誠	※文学部と合同開講	東洋中世史演習	都築 晶子	※修士課程・博士後期課程
日本史学文献研究 B	山田 誠	※文学部と合同開講	東洋中世史演習	都築 晶子	※修士課程・博士後期課程

東洋中世史演習	北村 高	※修士課程・博士後期課程	古典文学特殊研究A	鈴木 徳男	※文学部と合同開講
東洋近世近代史演習	瀨田 正美	※修士課程・博士後期課程	古典文学特殊研究B	鈴木 徳男	※文学部と合同開講
東洋近世近代史演習	木田 知生	※修士課程・博士後期課程	古典文学特殊研究A	中前 正志	※文学部と合同開講
東洋仏教史演習	大内 文雄	※修士課程・博士後期課程	古典文学特殊研究B	中前 正志	※文学部と合同開講
東洋史文献研究A	江村 治樹		近代文学特殊研究A	田中 励儀	
東洋史文献研究B	江村 治樹		近代文学特殊研究B	田中 励儀	
東洋史文献研究A	吉川 忠夫		情報出版学特殊研究A	和田 恭幸	
東洋史文献研究B	吉川 忠夫		情報出版学特殊研究B	和田 恭幸	
東洋史文献研究A	都築 晶子		日本語学特殊研究A	藤井 俊博	※文学部と合同開講
東洋史文献研究B	都築 晶子		日本語学特殊研究B	藤井 俊博	※文学部と合同開講
東洋史文献研究A	北村 高		古典文学演習	大取 一馬	※修士課程・博士後期課程
東洋史文献研究B	北村 高		古典文学演習	大取 一馬	※修士課程・博士後期課程
東洋史文献研究A	後藤裕加子	※文学部と合同開講	近代文学演習	安藤 徹	※修士課程・博士後期課程
東洋史文献研究B	後藤裕加子	※文学部と合同開講	情報出版学演習	越前谷 宏	※修士課程・博士後期課程
東洋史文献研究A	近藤 真美		日本語学演習	日下 幸男	※修士課程・博士後期課程
東洋史文献研究B	近藤 真美		古典文学文献研究A	藤田 保幸	※修士課程・博士後期課程
東洋史文献研究A	佐藤 智水	※文学部と合同開講	古典文学文献研究B	安井 重雄	
東洋史文献研究B	佐藤 智水	※文学部と合同開講	古典文学文献研究A	安井 重雄	
東洋史文献研究A	佐藤 智水	※文学部と合同開講	古典文学文献研究B	山本 登朗	
東洋史文献研究B	佐藤 智水	※文学部と合同開講	古典文学文献研究A	山本 登朗	
東洋史文献研究A	佐藤 智水	※文学部と合同開講	近代文学文献研究A	越前谷 宏	
東洋史文献研究B	佐藤 智水	※文学部と合同開講	近代文学文献研究B	越前谷 宏	
東洋史文献研究A	佐藤 智水	※文学部と合同開講	情報出版学文献研究A	天野 文雄	※文学部と合同開講
東洋史文献研究B	佐藤 智水	※文学部と合同開講	情報出版学文献研究B	天野 文雄	※文学部と合同開講

日本語日本文学

古典文学特殊研究A

古典文学特殊研究B

浅尾 広良

浅尾 広良

情報出版学文献研究 B ※文学部と合同開講

日本語学文献研究 A 天野 文雄

日本語学文献研究 B 余田 弘実

中国文学文献研究 A 余田 弘実

中国文学文献研究 B 谷口 匡

英語英米文学専攻

英文学特殊研究 A ライクロフト

英文学特殊研究 B D・W ライクロフト

英文学特殊研究 A 山崎 弘行

英文学特殊研究 B 山崎 弘行

米文学特殊研究 A 藤谷 聖和

米文学特殊研究 B 藤谷 聖和

英語学特殊研究 A 上 紀子

英語学特殊研究 B 上 紀子

英文学演習 福本 幸之

米文学演習 藤谷 聖和

英語学演習 東森 勲

英米文化演習 ラザリン・マイケル

英米文学文献研究 A 藤本 雅樹

英米文学文献研究 B 藤本 雅樹

英米文学文献研究 A 荒木 映子

英語学文献研究 A 内田 聖二

英語学文献研究 B 内田 聖二

英米文化文献研究 A ドゥーギル

英米文化文献研究 B ジョン・E

英米文化文献研究 B ドゥーギル

言語情報処理特殊研究 A 東森 勲

言語情報処理特殊研究 B 東森 勲

東方古典翻訳特殊研究 A 石田 法雄

東方古典翻訳特殊研究 B 石田 法雄

大学院共通科目

アカデミック・ライティング (ア) 安藤 徹

アカデミック・ライティング (イ) 安藤 徹

英語 (ライティング) (ア) 東森 勲

英語 (ライティング) (イ) 東森 勲

英語 (リーディング) (ア) ドゥーギル

英語 (リーディング) (イ) ジョン・E

英語 (リーディング) (イ) 藤本 雅樹

英語 (リーディング) (イ) 藤本 雅樹

二〇一三年度後期～二〇一四年度前期 文学研究科院生の研究活動

真宗学専攻

○真宗研究会

〈修士論文中間発表〉

【第一日】

日程 二〇一三年一〇月二十九日(火)

於 龍谷大学大宮学舎東餐一〇三教室

- ・真宗の社会活動の根拠について
— 近代の俗諦観を中心に —
谷治 暁 (M2)
- ・能化時代初期における十劫久遠論の研究
— 月笠師を中心に —
岩田 恒 (M2)
- ・親鸞と門弟
— 高田教団の原点をさぐる —
武田真応 (M2)
- ・関東門弟における信仰の一形態
梨本雄哉 (M2)

【第二日】

日程 二〇一三年十一月七日(木)

於 龍谷大学大宮学舎清和館三階大ホール

- ・親鸞浄土教における聞名思想の研究
山崎隆弘 (M2)

・親鸞における信仰的実存の意義

・親鸞と隆寛

— 特に三心観について —

・真宗カウんセリングについて

・真宗における他作自受の問題について

— 親鸞の因果観より —

・島地黙雷と明治真宗教学史

・近世前期西本願寺御堂衆と教学

・浄土教の近代的解釈の一考察

・親鸞における救済思想

— 聞名を中心に —

・「便同弥勒」「諸仏等同」思想の研究

○学会発表

〔龍谷大学真宗学会第六七回大会〕

日程 二〇一三年十一月五日(火)

於 龍谷大学清和館三階大ホール

- ・唱導家としての聖覚像について
西河 唯 (D2)

・ヨーロッパにおける浄土真宗の伝道

―特に『歎異抄』を用いた伝道について― 禿 定心 (D3)

・島地大等と時代思潮

川元恵史 (D3)

・親鸞の一乗思想における叡山教学の受容

―源信『一乗要決』との関連を中心に― 四夷法頭 (D3)

・親鸞における自力に関して

杉田 了 (D3)

《真宗連合学会第六一回大会》

日程 二〇一四年六月一三日(金)・一四日(土) 於 仁愛大学

・現代真宗伝道のための基礎的研究

奥田佳寛 (D2)

・「正信念仏偈」の文言の異同について

玉木興隆 (D3)

《京都・宗教学大学院連合院生発表会》

日程 二〇一四年七月二八日(月)

於 龍谷大学大宮学舎清和館三階大ホール

・真宗伝道の実践的研究

―浄土真宗本願寺派築地本願寺の実態調査―

南條了瑛 (D2)

《日本印度学仏教学会第六五回学術大会》

日程 二〇一四年八月三〇日(土)・三一日(日)

於 武蔵野大学有明キャンパス

・吉蔵の浄土観に関する一考察

―『観経義疏』を中心として―

榎屋達也 (D2)

・真宗伝道学体系の一試論

奥田佳寛 (D2)

・実践的伝道学の一考察

南條了瑛 (D2)

・二双四重判の定義について

西村慶哉 (D2)

・親鸞における「疑」の研究

―特に『往生要集』との比較を中心として―

宮地 崇 (D2)

・玄智教学の研究

―『考信録』を中心とした行信論―

掬月即勝 (D3)

・『唯信鈔』の原本について

―説草としての成立背景―

西河 唯 (D3)

・Shin Buddhist Perspectives on Buddha-nature: Challenges in the Dimensions of Personal Subjectivity and Societal Aspect in Religious Pluralism

(和訳：真宗教義の仏性義論：宗教多元における主体性と社会性への課題)

藤原ワンドラ睦 (D3)

《日本宗教学会第七三回大会》

日程 二〇一四年九月一二日(金)・一三日(土)・一四日(日)

於 同志社大学今出川キャンパス

・玄智『考信録』の一考察

―神祇観をめぐって―

掬月即勝 (D3)

・「信巻」「悲哉」の真宗伝道学的視点からの考察

藤原ワンドラ睦 (D3)

《第六十一回 日本チベット学会大会》

日程 平成二十五年十一月十六日(土)

於 高野山大学

・ *Pratītyasamutpāda-śāstra* の書誌学的考察

西山 亮 (研究生)

仏教学専攻

《日本佛教学会二〇一三年度学術大会》

日程 平成二十五年九月十三日(金)

於 早稲田大学

・ 西山教学と浄土教美術

釋 真弥 (研究生)

《第五十六回 天台宗教学大会》

日程 平成二十五年十一月十六日(土)

於 大正大学

・ 伝教大師の因明観に関する一考察

吉田慈順 (研究生)

《修士論文中間発表会》

日程 平成二十五年十月二十九日(火)

於 龍谷大学大宮学舎東費二〇四教室

・ 中国唯識における如来藏思想の研究

李 子捷 (M2)

・ 「中論」註釈書の研究

― 「無畏論」と青目釈「中論」について― 眞岡陽明 (M2)

《密教図像学会 第三十三回学術大会》

日程 平成二十五年十二月七日(土)

於 早稲田大学

・ カーピシーにみられる図像とその信仰

打本和音 (D2)

《平成二十五年 龍谷大学佛教学會学術研究発表会》

日程 平成二十六年一月二十九日(水)

於 龍谷大学大宮学舎西費二階大会議室

・ ヒンドゥー教における裸者の形成について

― 「ヴィシュヌ・プラーナ」第3巻第17-18章を中心に―

山田昌弘 (特別専攻生)

・ *Dīgha-Nikāya* 戒蘊篇と「長阿含経」第三分における

三学について ― 慧学を中心にして―

神山清高 (特別専攻生)

・ 維摩経変相図中の「崑崙奴」について

平 法子 (M2)

・ スリランカ仏教における出家者と在家者の関係

― *dāham pāsai* (法の学校)を通して― 横尾明親 (M2)

日程 平成二十五年十月三十日(水)

於 龍谷大学大宮学舎東費二〇五教室

・ ガンダーラ仏教浮彫にみられる儀礼表現の研究

濱本彩萌 (M2)

—十波羅蜜多の定数を中心に— Vo Thi Van Anh (D1)

・ガンターラ仏三尊像にみられる尊名

—『大阿弥陀経』所説の阿弥陀仏との関連について—

壬生泰紀 (D3)

《XVIIIth Congress of the International Association of Buddhist Studies》

日程 平成二十六年八月二十日(水)

於 University of Vienna, Austria

・The Theory of the Conventional Truth Presented

in the *Prajñāpradīpa* and its *Tiḥā* 西山 亮 (研究生)

《日本印度学仏教学会 第六十五回学術大会》

日程 平成二十六年八月三十日(土)

於 武蔵野大学

・『根本中論頌』「観四諦品」における二諦説解釈

早島 慧 (研究生)

・ガンターラ仏三尊像にみられる尊名

—『大阿弥陀経』所説の阿弥陀仏との関連について—

壬生泰紀 (研究生)

日程 平成二十六年八月三十一日(日)

於 武蔵野大学

・『中辺分別論』第五章「無上乘品」における

波羅蜜多説について

Vo Thi Van Anh (D2)

パネル発表B (新たな視点からのステイラマティ研究)

・『大乘中観釈論』研究の本格始動に向けて 早島 慧 (研究生)

哲学専攻

《『自然科学の形而上学的原理』研究会》

毎週月曜日 十五時—

テキストを精読することにより、カントにおける自然科学観を把握し、現代的科学観ならびにニュートン物理学との比較を通して、カントの科学観の再検討をする。

場所：哲学合同研究室

テキスト：カント『自然科学の形而上学的原理』犬竹正幸訳 (岩

波書店 二〇〇〇年)

《ケア倫理研究会》

毎週火曜日 十六時三十分—

ネル・ノディングズによるケアリング論を英語で精読する。オ

—ソドックスなケアの倫理について研究する。

場所：哲学合同研究室

テキスト：Nel Noddings, *Caring: A Relational Approach to*

Ethics and Moral Education, University of California Press (2nd Ed.), 2003

教育学専攻

〈日本社会教育学会 第六十回大会〉

日程 二〇一三年九月二七日(金)～二八日(土)

会場 東京学芸大学

- ・1960年代の教育政策と経済界が要求していた教育政策概念との乖離について

―「経済発展における人的能力開発の課題と対策」を中心に―

吉良仁美 (研究生)

- ・地域における子育て支援の専門性に関する研究

―ボランティアスタッフのあり方とのかかわり―

宮木康寿 (研究生)

〈関西教育学会 第六十五回大会〉

日程 二〇一三年十一月十六日(土)

会場 和歌山大学

- ・臨時教育審議会が求めた学力観
- ・文学教育における価値形成について
- ― 道徳教育との比較 ―

吉良仁美 (研究生)

村尾 聡 (D1)

〈二〇一三年度 教育学会研究発表大会(後期)〉

日程 二〇一三年十二月十四日(土)

会場 龍谷大学大宮学舎 南翼二〇四教室

- ・留学生の就職支援のあり方について

― 内定をもらった京都府の留学生へのインタビュー ―

郭 静 (D3)

- ・中国高等教育における日本語教材の分析

― 「新編日語」と「新編日語」(改訂版)の対比を通して―

劉 坤 (M2)

- ・日本における新中間層の「教育戦略」

― その目的と多様性に着目して ―

武田猪久生 (D6)

- ・地域における子育て支援に関する研究

― 市民的専門性に着目して ―

宮木康寿 (研究生)

- ・ハイタレント・マンパワーと人的能力開発の課題と対策

吉良仁美 (研究生)

- ・文学教育における価値形成について

― 道徳教育との比較 ―

村尾 聡 (D1)

「龍谷大学教育学会紀要」

第十三号 龍谷大学教育学会 二〇一四年三月

- ・研究論文 新中間層の「教育戦略」

― その多様性に着目して ―

武田猪久生 (D6)

- ・研究ノート 1960年代における教育政策と顕在会での教育政策概念の解離について

― 「経済発展における人的能力開発の課題と対策」を中心に ―

― 「経済発展における人的能力開発の課題と対策」を中心に ―

『関西教育学会年報』

第三十八号 関西教育学会 二〇一四年六月

・臨時教育審議会が求めた学力観

吉良仁美 (研究生)

・文学教育における価値形成について

村尾 聡 (D2)

― 道德教育との比較 ―

臨床心理学専攻

〔二〇一三年度後期〕

〈第五四回日本心身医学会近畿地方会〉

於 和歌山赤十字病院

発表日：二〇一三年八月三日(土)

・「治療場面における関係性についての一考察」(一般演題)

田中智之 (M2)・吉川 悟 (教授)

日程 二〇一四年七月十九日(土)

会場 龍谷大学大宮学舎 南饗二〇四教室

・日中の幼児教育に関する研究比較

― 親としての中国「80後世代」の今後のために ―

王 蕊 (M2)

〈第二三回日本心身医学会関東地方会〉

於 東京大学医学部教育研究棟

日程：平成二五年一月一六日(土)

・「ストレス反応をコントロールする呼吸法の研究」

発表者：廣瀬俊司 (D2)

・自然災害と社会教育

― 東日本大震災被災地の復興過程における

ソーシャル・キャピタルの形成と社会教育活動の

果たす役割 ―

・中国の高等教育における日本語精読教材の分析

劉 坤 (D1)

・留学生の就職支援のあり方について

吉良仁美 (研究生)

― 内定をもらった中国人留学生へのインタビューを通して ―

郭 静 (D3)

・1970年代の日本における経済界が求めた能力概念の検

吉良仁美 (研究生)

〈第一八回日本心療内科学会総会・学術大会〉

於 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

会期：二〇一三年二月七日(土)～二月八日(日) (発表日二

月七日)

・「発達相談における治療外要因の一考察」

発表者：沖原千菜美 (D2) 吉川 悟 (教授)

究」

張田ようこ (M2)

・「青年期における通過儀礼と実存不安」

鈴木絹世 (M2)

・「治療関係の形成を評価する

―システムズアプローチの視点からの一考察―」

田中智之 (M2)

〈第一八回日本心療内科学会〉

於 愛知県産業労働センター

発表日：二〇一三年二月八日(日)

・「治療場面における関係形成についての試行的検討」(ポスター

発表)

田中智之 (M2)・吉川 悟 (教授)

〈京都府歯科医師会〉

於 京都府歯科医師会館

日程：二〇一四年二月一六日(日)

・「高齢者の歯科治療を安全に遂行するための呼吸法の研究」

発表者：廣瀬俊司 (D2)

〈二〇一三年度研究大会〉

日程 二〇一三年一月二五日

於 龍谷大学大宮学舎 清風館B101,102教室

・「日本版個人的神話尺度の信頼性と妥当性の検討」

室屋賢士 (M2)

〈第六回吉川研究室研究大会〉

於 龍谷大学大宮学舎

・「特別養護老人ホームにおける介護職員の死への意識につい

て」

武藤有佑 (M2)

発表日：二〇一四年三月一日(土)

・「あえて症状に着目しない defocus を用いて日常性に着しい回

復が見られた事例」

田中智之 (M2)

・「欺瞞性認知とコミュニケーション・スキルの関連性について

―恋愛場面における欺瞞的コミュニケーションに

着目して―」

小田理未 (M2)

龍谷大学大学院文学研究科紀要第三五号」

・「青年期における現実自己が抱く劣等感について

―理想自己との比較・他者比較の観点から―」

川合綾香 (M2)

・「性役割観と夫婦関係満足度に関する質的研究

―妻の視点から―」 pp.1-16.

狩野真理 (D2)

・「児童養護施設入所児童に対する有効な心理的援助の要因につ

いての分析」 pp63-79

・「大学生が認知する両親との関係性と心理的健康に関する研

『龍谷大学大学院臨床心理相談室紀要第一〇号』

・「不登校を呈した中学生女子との面接過程」pp.39-46.

室屋賢士 (M2)

於 龍谷大学大宮学舎 東餐103、104教室

発表日：二〇一四年六月二十九日

・「虐待再考 しつけ文化と虐待」

発表者：森田喜治(教授)・劉妮 (D2)・上蘭美鈴 (D2)

『日本心身医学会雑誌第五四巻九号』

「ブラキシズムとストレスの関係を明らかにするための質問紙作

成の試みとその検討」pp. 867-876.

廣瀬俊司 (D2)

二〇一四年度中間研究発表会

日程：二〇一四年七月五日

於 龍谷大学大宮学舎 東餐103、104教室

『龍谷大学臨床心理学紀要第二号』

「ストレス反応をコントロールする呼吸法の研究」pp.15-29.

廣瀬俊司 (D2)

・「複雑性悲嘆の要因とされる不合理的信念の形成過程」

三辻裕太 (M2)

・「両親からのソーシャル・サポートと認知的評価及び対処法略

との関連性—対人ストレス場面に着目して—」

田中駿亮 (M2)

『日本歯科心身医学会雑誌第二八巻一・二号』

「質問紙法ストレスの研究」p. 48.

廣瀬俊司 (D2)

・「中小企業におけるメンタルヘルスケアに関する実態調査

—経営者の認識とニーズの検討—」 上地絵梨子 (M2)

・「小学生の居場所としての子供会—臨床心理学的地域援助への

可能性—」 小岱燈 (M2)

『日本心身医学会』

日程：二〇一四年六月六日(金)七日(土)

・「ブラキシズムの心理的要因の研究」

発表者：廣瀬俊司 (D3)

・「不登校の経過に伴う家族システムの変容過程について」

川浦あい (M2)

・「援助要請意図に影響を及ぼす要因の検討」 古木幹人 (M2)

・「感謝生起状況の傾向と主観的 Well-being の関連について」

〈第一一回 児童福祉施設のための研修会〉

岡奈々子 (M2)

清田敦彦 (〇が発表者)

・「老年期にある浄土真宗寺院に集う門信徒の生死観について」

植村祐依 (M2)

〈第三二回日本家族研究・家族療法学会〉

於 神戸国際会議場

・「大学生の養護性について―幼少期から現在までの親子関係を通して―」

発表日：二〇一四年七月二〇日

於 神戸国際会議場

・「質的研究をもちいた若年性認知症・初期認知症の専用サービ
スでの表現活動による心理的援助の可能性の考察」

・「不登校を問題としている家族への構造的アプローチ―IP面
接からの一考察―」

川北一征 (M2)

室屋賢士 (D1)、梅野智美 (D2)、東 豊 (教授)

・「大学生における他者の表情認知と主観的幸福感との関連につ
いて」

・「中学生の社会的スキル及び幼少期の両親への愛着と不登校傾
向との関連」 発表者：志田 望 (D1)・吉川 悟 (教授)

林寺陽子 (M2)

・「ジョイニングの試行的効果研究」

・「青年期における甘え意識について―自我状態の観点から―」

発表者：田中智之 (D1)・吉川 悟 (教授)

橋川奈々恵 (M2)

〈日本遊戯療法学会 第二〇回大会〉

・「大学生における家族内呼称の心理的同一化傾向と家族機能及
び家族満足度との関連」

木村博旨 (M2)

於 星陵会館・都市センターホテル

・「システムズアプローチにおける複数担当者面接トレーニング
について」

田中智之 (D1)

発表日：二〇一四年七月二〇日

・「お化けに怯える女兒とのプレイセラピー―児童養護施設で
の被虐待児との2年間―」 発表者：上蘭美鈴 (D2)

〈第五七回日本腎臓学会〉

於 パシフィコ横浜

発表日：二〇一四年七月六日

・「透析患者のベッドサイドカウンセリングについて―スーパ
バイジ―の立場から―」

〇志田 望 (D1)、中谷沙恵子、中西佑衣、花田里欧子、

〈第五六回日本心身医学会近畿地方会〉

於 関西医科大学

発表日：二〇一四年七月二五日(土)

発表者：劉 妮 (D2)

・「アレキシサイミアの患者との治療関係の構築について」

発表者：田中智之（D1）・吉川 悟（教授）

〈日本歯科心身医学会〉 於 神奈川歯科大学 横浜クリニック

日程：二〇一四年七月二十六日（土）二十七日（日）

・「呼吸法の研究―高齢者の歯科治療を安全に

遂行するために―」 発表者：廣瀬俊司（D3）

〈日本フリーサイコロセラピー学会 第二四回熊本大会〉

於 くまもと森都心・熊本市国際交流会館

発表日：二〇一四年八月三十一日（日）

・「複数面接の特徴を生かすこと―モラルハラスメントの

事例から―」 発表者：田中智之（D1）・吉川 悟（教授）

『日本歯科心身医学会雑誌』

「ブラキシズムとストレスの関係―エプログラムの4つの基本パタ

ーンを指標として―」 廣瀬俊司（D3）

国史学専攻・日本史学専攻

【二〇一三年度後期】

□相談会「卒業論文執筆相談会」

卒業論文執筆中の学部生を対象とした相談会

日時：二〇一三年十一月八日（金）五・六講時

場所：大宮学舎東翼三〇五教室

担当者：花熊祐基（考古学M1）、吉田恵美（古代史M1）、

下石敬太郎（中世史M1）、栗山 寛（近現代史M1）、

児玉祥吾（近世史M2）

□研究発表会 例会

第七回 十月三日（水）

三亀由季（M2）

「中世禅宗寺院について―大徳寺を中心に―」

第八回 十月三十日（水）

下石敬太郎（M1）

「四国における治承・寿永内乱―土佐国を中心に―」

第九回 十一月十三日（水）

児玉祥吾（M2）

「天文方と陰陽寮の関係について」

第十回 十二月四日（水）

栗山 寛（M1）

「二〇世紀初頭における仏教史研究の一断面―新仏教徒同志会

の仏教理解とその歴史性―」

第十一回 十二月十一日（水）

吉田恵美（M1）

「小野篁冥官説話と六道珍皇寺の関係について」

□研究会・輪読会

■古代史輪読会

〈於 日本史学合同研究室〉

【顧問：平林章仁（本学文学部教授）、代表：造酒豊（博士後期課程）】

古代史輪読会では、院生を中心に、学部生を含めて、古代史研究の基本史料である「類聚三代格」と「風土記」の輪読を進めている。史料の読み方や内容を検討し、その中に含まれている問題点やその史料の持つ歴史の意味などをめぐって、云いたいことを云い合う。つまりは、ひとつの史料をネタにして如何に遊ぶか。これが輪読会の目標である。

具体的日程は、その都度合議により決めているが、凡そ次のようである。

「類聚三代格」…毎月第二土曜日。午後四時から。

史料…国史大系「類聚三代格」

「風土記」…毎月第四日曜日。午後四時から。

史料…日本古典文学大系「風土記」

■中世史研究会 毎月第二水曜日 第三講時

〈於 日本史学合同研究室〉

【担当…渡邊慶一郎（修士課程）】

テキスト…「細川両家記」（新校 群書類従）名著普及会、一九七七年）

室町時代後期、細川吉兆家の家督争いから、織田信長と三好三人衆との争いまで、一六世紀の畿内における戦乱を見ていく。

毎月、発表者を決め、解釈や時代背景等を報告する。

■近世史史料輪読会 隔週金曜日 午後五時から

〈於 日本史学合同研究室〉

【担当…小林健太（博士後期課程）】

テキスト…林子平『海国兵談』（山岸徳平他編『新編林子平全集』第一巻所収、第一書房、一九七八年）

本年度は『海国兵談』を輪読し、史料の読み、解釈を全員で検討する。あわせて社会的・思想的背景も考察する。

■近・現代史研究会 隔週火曜日 第四講時

〈於 日本史学合同研究室〉

【担当…八木原清登（博士後期課程）】

本研究会では研究論文あるいは史料の輪読を行う。その目的は、論文あるいは史料の輪読を通じて、近現代史を研究する上で必要な知識を得ることにある。

テキストは丸山眞男、藤田省三など、日本近現代史における主要研究者の著作物を用いる。具体的には丸山眞男『現代政治の思想と行動』（未来社、一九六四年）や藤田省三『天皇制国家の支配原理』（みすず書房、二〇一二年）である。

■「天正記」を読む会 毎月第一・第三水曜日 第三講時

〈於 大宮図書館四階学習室〉

【担当…三亀由季（修士課程）】

本会では、国立公文書館所蔵の古活字版「天正記」をテキストとして輪読会を行っている。「天正記」は豊臣秀吉の御伽衆大村由己が著した一群の記録であるが、本書を丹念に読み解くことによつて、これまで知られなかつた豊臣時代の姿が浮かび上がってくる可能性がある。進め方は、事前にテキストを配布し発表担当者を決めて輪読する。

■考古学勉強会 《於 大宮学舎東餐二階 考古学研究室》

勉強会①

「レンフルの考古学を読む」(隔週金曜日六講時)

【担当】國下多美樹(本学文学部教授)

レンフルの論文(訳文)を用いる。

勉強会②

「京都・周山地域の歴史を学ぶ」(隔週金曜日六講時)

【担当】能井亮介(修士課程)

京都市右京区京北町周山に関する歴史・遺跡の勉強会を、夏季の調査に備えて行う。

夏季考古学研究室遺跡踏査

「北部九州」

日時・九月六～八日

〈一日目〉東光寺剣塚古墳・板付遺跡・板付遺跡弥生館・金隈遺

跡・福岡市埋蔵文化財センター・丸隈山古墳・平原遺

跡・伊都国歴史博物館

〈二日目〉竹原古墳・須玖岡本遺跡・奴国の丘歴史資料館・水城・

大宰府政庁跡・九州国立博物館・焼ノ峠古墳

〈三日目〉九州歴史資料館・日輪寺古墳・下馬場古墳・浦山古墳・

岩戸山古墳・岩戸山歴史資料館・乗場古墳・石人山古墳

秋季遺跡見学会

「山の辺の道を散策する」

日時・十一月四日 月曜日

見学先・西山古墳・西乗鞍古墳・東乗鞍古墳・西山塚古墳・西殿

塚古墳・東殿塚古墳・中山大塚古墳・纏向石塚古墳・箸

墓古墳

考古学談話会

第四十九回

日時・十二月十四日 土曜日 十三時三十分～十七時

発表者・新平 直彦(M3)

「無紋銀銭の再検討―古代貨幣の祭祀性―」

発表者・杉本 宏(宇治市歴史まちづくり推進課)

「現代と考古学」

発表者・國下 多美樹(本学文学部教授)

「中国洛陽盆地の踏査報告 二〇一三夏」

□ 『龍谷日本史研究』第三七号(二〇一四年三月発行)

【二〇一四年度前期】

□二〇一四年度総会

日 時：二〇一四年六月二〇日(金)午後一時十五分

場 所：龍谷大学大宮学舎 清和館三階

記念講演(龍谷学会協賛)：荊木美行先生(皇學館大学研究開発

推進センター副センター長)

「帝王系図と古代王権

―『日本書紀』の「系図一卷」をめぐる―」

□研究発表会・例会

第一回 五月二日(金)

小島洋市朗(近現代史 M1)

「大正期における高等学校の設立」

第二回 五月十六日(金)

三島尚大(近現代史 M1)

「高坂正顕の敗戦体験―京都学派の思想的考察―」

第三回 五月三十日(金)

長谷屋楨(中世史 M1)

「鎌倉時代における信濃国善光寺の諸相

―政治と信仰の側面から―」

第四回 六月十三日(金)

湯川椋太(近現代史 M1)

「明治初期の修史事業」

第五回 六月二十七日(金)

北福翔平(近現代史 M1)

「北一輝の転向について」

□研究会・輪読会

■古代史輪読会

【顧問：平林章仁(本学文学部教授)、代表：造酒豊(博士後期課程)】

古代史輪読会では、院生を中心に、学部生を含めて、古代史研

究の基本史料の輪読を進めている。本年度は「風土記」と「類聚

三代格」を取り扱う。史料の読み方や内容を検討し、その中に含

まれている問題点やその史料の持つ歴史の意味などをめぐって、

云いたいことを言い合う。つまりは、ひとつの史料をネタにして

如何に遊ぶか。これが輪読会の目標である。

具体的日程は、その都度合議により決めているが、凡そ次のようである。

「風土記」…毎月第二土曜日。午後四時から。

〈於 日本史学合同研究室〉

史料…日本古典文学大系「風土記」

「類聚三代格」…毎月第四日曜日。午後四時から。

〈於 日本史学合同研究室〉

史料…国史大系「類聚三代格」

■中世史研究会 毎月隔週月曜日五講時

〈於 日本史学合同研究室〉

【担当：下石敬太郎(修士課程)】

テキスト…「吾妻鏡」(新訂増補国史大系・吉川弘文館)

鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』を輪読し、漢文の読解力の修得を目指す。発表者を決め、読み下し・現代語訳を行う。学部生を対象として行うので、積極的に参加してください。ゼミの研究報告、卒論などの相談も行います。

■近世史料輪読会 隔週金曜日 午後五時から

〈於 日本史学合同研究室〉

【顧問…山本浩樹（本学文学部准教授）、担当…小林健太（博士後期課程）】

テキスト…『京都御役所向大概覚書』（清文堂）

本年度は『京都御役所向大概覚書』を輪読し、史料の読み、解釈を全員で検討する。あわせて近世京都の都市政策にも注目し、その社会的背景を考える。

■近・現代史研究会 隔週火曜日四講時

〈於 日本史学合同研究室〉

【担当…栗山寛（修士課程）】

本研究会では研究論文あるいは史料の輪読を行う。

その目的は、論文あるいは史料の輪読を通じて、近現代史を扱う上で必要な知識を得ることにある。

テキストは丸山眞男、藤田省三など、日本近現代史における主要研究者の著作物を用いる。本年度前期は丸山眞男『現代政治の

思想と行動』（未来社、一九六四年）の輪読を行う予定である。

■「天正記」を読む会 第一・第三水曜日四講時

〈於 大宮図書館四階学習室〉

【幹事…渡邊慶一郎（特別専攻生）】

本会では、国立公文書館所蔵の古活字版「天正記」をテキストとして輪読会を行っています。「天正記」は豊臣秀吉の御伽衆大村由己が著した一群の記録ですが、本書を丹念に読み解くことによって、これまで知られなかった豊臣時代の姿が浮かび上がってくる可能性もあります。進め方は、事前にテキストを配布し発表担当者を決めて輪読します。

■考古学勉強会 各週金曜日六講時

〈於 大宮学舎東餐二階考古学研究室〉

【担当…國下多美樹（本学文学部教授）、花熊祐基（修士課程）】

「考古学の基礎を読む」

本勉強会は、考古学に関する様々な分野における基礎的な論文を読み、考古学の歴史と基礎知識の習得を行なうことを目的としている。

□講演会「卒業論文講習会」

日 時…二〇一四年七月十一日（金）五講時

場所…龍谷大学大宮学舎 東齋三〇五教室

報告者…花熊祐基(考古学 M2)

川出康博(古代史 D2)

長谷屋楨(中世史 M1)

小林健太(近世史 D2)

小島洋市朗(近現代史 M1)

「蘇軾の山水画論」

○ 第三十七回研究大会

日時 十二月六日(金)午後一時十五分

於 龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

【研究発表】

清水良紀(本学修士課程)

「マムルーク朝末期の社会—社会構造の変化と民衆活動について」

吉竹宏騎(本学修士課程)

「中国宋元時代における黄河治水と漕運について」

末川汎介(本学博士後期課程)「梁の同泰寺について」

【文学部特別講義】

岩井茂樹先生(京都大学教授)

「日本国王をさがす—十八世紀の清日交渉の「こま」—」

※研究大会終了後、大宮学舎清和館一階生協食堂にて懇親会を開催

○ 第三十八回総会

日時 二〇一四年六月六日(金)午後一時十五分

於 龍谷大学大宮学舎 清和館三階ホール

東洋史学専攻

彙報【二〇一三年後期〜二〇一四年前期】

○ 卒業論文書き方講座

日時 二〇一三年十一月十四日(木)午後三時

於 龍谷大学大宮学舎 清和館三階ホール

講師 村岡倫先生(本学文学部教授)

○ 学部生研究発表例会

日時 二〇一三年十二月十六日(月)午後五時十五分

於 大宮学舎 西齋二階東洋史学合同研究室

発表者…佐々木啓示さん(三回生・木田ゼミ)

「南宋と金の外交をめぐる」

—紹興年間の二つの和議を中心に—

島村桂子さん(三回生・木田ゼミ)

【記念講演】

木山克彦先生（東海大学清水教養センター講師）

「契丹の北西辺防の様相・モンゴル・チントルゴイ城址の調査」

※研究大会終了後、大宮学舎清和館一階生協食堂にて懇親会を開催

日本語日本文学専攻

〈二〇一三年度 日本語日本文学専攻 院生合同発表会〉

日程 二〇一三年九月九日(月)

於 龍谷大学大宮学舎 北餐二〇二教室

・後鳥羽院と定家の対立意識について 溝端悠朗 (M2)

・「言霊倒語説」を中心とした富士谷御杖の言語思想について 大橋優子 (M2)

―用語の整理と体系の考察―

・「愛と死」

―武者小路実篤における「理想」と「現実」―

内田さとみ (M2)

・明治四〇年周辺、女性への言説をめぐって

―田村俊子「あきらめ」を中心に― 佐藤 晴 (M2)

〈文藝談話会 第三二回例会〉

日程 二〇一三年九月二十二日(日)

於 龍谷大学大宮学舎 南餐一〇五教室

・無住と長母寺

―入山の経緯と『沙石集』執筆の意図― 太田丈也 (M1)

〈文藝談話会 第三三回例会〉

日程 二〇一三年十二月一日(日)

於 龍谷大学大宮学舎 南餐一〇五教室

・仏教説話における動物について

―『日本霊異記』を中心に― 中川はづき (M1)

〈文藝談話会 第三四回例会〉

日程 二〇一四年二月二十三日(日)

於 龍谷大学大宮学舎 南餐一〇五教室

・定家の「大内の花見」の歌について

―「述懐の心」をめぐって― 溝端悠朗 (M2)

〈第五回龍谷大学国際シンポジウム 「真宗史の諸問題」ポスターセッション〉

日程 二〇一四年三月二十二日(土)

於 ハワイ大学 (Buddhist Study Center Hawaii)

・顕如上人三百年忌とへ山軍記物への流行

―歌舞伎・読本・講談への展開― 豊岡瑞穂 (D2)

〈和歌文学会 第一一四回関西例会〉

日程 二〇一四年四月十九日(土)

於 京都女子大学J校舎 J四二〇教室

・定家の「大内の花見」の歌について

溝端悠朗 (D1)

《文藝談話会 第三五回例会》

日程 二〇一四年四月二十七日(日)

於 龍谷大学大宮学舎 南費一〇五教室

・能本《蟬丸》考

― 「逆髪」、「蟬丸」姉弟を中心に―

佐野仁美 (D3)

《文藝談話会 第三六回例会》

日程 二〇一四年六月二十二日(日)

於 龍谷大学大宮学舎 南費一〇五教室

・明治期における《石山軍記物》の流行と展開

― 顕如上人御遠忌との関係を中心に―

豊岡瑞穂 (D3)

《二〇一四年度 龍谷大学国文学会 研究発表会》

日程 二〇一四年六月二十八日(土)

於 龍谷大学大宮学舎 北費二〇四教室

・『源氏物語』の《終わり》

― 女を「据う」物語のゆくえ―

亀井久美子 (D2)

英語英米文学専攻

二〇一三年度(後期)

《研究発表会》

日程 二〇一四年七月十二日(土)

於 いわき明星大学 人文系館・講義館

・『源氏物語』の《終わり》

― 「据う」物語のゆくえ―

亀井久美子 (D2)

・明治期における《石山軍記物》の流行と展開

― 顕如上人御遠忌との関係を中心に―

豊岡瑞穂 (D3)

《二〇一四年度 日本語日本文学専攻 プレ合同発表会》

日程 二〇一四年八月八日(金)

於 龍谷大学大宮学舎 北費二〇二教室

・仏教説話における動物変身について

― 蛇と狐を中心に―

中川はづき (M2)

・『沙石集』出典考

太田丈也 (M2)

・京極派和歌の特質とその詠歌方法

― 伏見院の和歌を中心に―

檜垣 駿 (M2)

・『一千一秒物語』に見られる映画の遺伝子

― 稲垣足穂の創り出そうとしたもの―

森下直弥 (M2)

・程度副詞の再検討

― 中程度を表す程度副詞を中心に―

吉原愛美 (M2)

九月一六日(月)

於 龍谷大学大宮学舎 清和館三階ホール
研究発表

- About Bob Dylan's *Chronicles: Volume One*

川田泰志 (M3)

講演

- Fitzgerald と短編 藤谷聖和 (龍谷大学教授)

- 文学 (研究) 体験を語る

—George Moore の改宗をめぐる主体の二重性を中心に—

山崎弘行 (龍谷大学特別任用教授)

《修士論文中間発表会》

十一月二七日(水)

於 龍谷大学大宮学舎 英語英米文学合同研究室

- F. Scott Fitzgerald and the American Dream: Through

The Great Gatsby and *The Love of The Last Tycoon*

越間将平 (M2)

- The Growth in Richard Wright's *Rite of Passage*

川田泰志 (M3)

大学院文学研究科課程博士学位取得者一覧

報告番号	氏名	授与年月日	学位の種類	論文題目
甲第1号	日野 照正	S 60. 3 . 23	文学博士	近世の淀川における水運の開展と衰退
甲第31号	那須 円照	H14. 3 . 16	博士(文 学)	アビゲルマ仏教の研究 —時間・空間・涅槃—
甲第32号	崔 孝先	H14. 3 . 16	博士(文 学)	初期金達寿文字の研究 —“民族”の目覚め—
甲第37号	荒木美知子	H15. 3 . 15	博士(教育学)	乳児期および幼児期の「交流」の形成と発達の研究 —ソビエト心理学の研究を契機として—
甲第38号	李 濟滄	H15. 3 . 15	博士(文 学)	六朝貴族の政治とその精神
甲第39号	朝木 敏子	H15. 3 . 15	博士(文 学)	中世随筆の生成 —語り手の問題をめぐって—
甲第40号	島村 健司	H15. 3 . 15	博士(文 学)	横光利一の文学 —表象とメディアの相関性—
甲第46号	那須真裕美	H16. 3 . 13	博士(文 学)	中期中観派における二諦説の研究 —とくにパーヴィヴェーカを中心に—
甲第47号	孫 儷茗	H16. 3 . 13	博士(文 学)	『婆沙論』を中心とする説一切有部の修道論
甲第48号	木田 隆文	H16. 3 . 13	博士(文 学)	武田泰淳文学の生成と展開〈昭和〉言説空間との 相関から
甲第52号	木村 世雄	H17. 3 . 19	博士(文 学)	真宗における阿弥陀仏身表現の思想史的意義
甲第53号	高山 秀嗣	H17. 3 . 19	博士(文 学)	中世浄土教者の伝道とその特質
甲第54号	岡本 健資	H17. 3 . 19	博士(文 学)	Asokāvadāna の研究
甲第55号	松岡 信哉	H17. 3 . 19	博士(文 学)	Faulkner's Creation of a Whole from Fragments: The Interrelations of His Novels and Short Stories in 1920s to 30s
甲第60号	脇中起余子	H17. 9 . 21	博士(教育学)	K 夔学校高等部の算数・数学における「9歳の壁」とその克服の方向性 ～手話と日本語の関係をどう考えるか～
甲第61号	原田 哲了	H18. 3 . 18	博士(文 学)	『歎異抄』の研究 —真宗教学史上における宗教書としての意義—
甲第62号	那須 良彦	H18. 3 . 18	博士(文 学)	説一切有部における得と衆同分の研究 —実在非実在をめぐる議論を中心に—
甲第63号	井上 博文	H18. 3 . 18	博士(文 学)	涅槃経と律蔵に記される結集記事
甲第64号	池田 智文	H18. 3 . 18	博士(文 学)	日本近代史学の思想史的研究 —「国史学」と「皇国史観」の関係について—
甲第65号	吉田 賢司	H18. 3 . 18	博士(文 学)	室町幕府一守護体制変容過程の研究
甲第77号	出羽 孝行	H18. 9 . 19	博士(教育学)	中国朝鮮族の民族教育の現状に関する実証的研究
甲第80号	松本 デビッド	H19. 3 . 17	博士(文 学)	浄土真宗における人間性と救済 —西洋現代真宗学の間人理解— An Approach to the Question of Humanness in Contemporary Western Shin Buddhism —the soteriological significance of disability—
甲第81号	岩田 朋子	H19. 3 . 17	博士(文 学)	臥坐具撻度の研究

報告番号	氏名	授与年月日	学位の種類	論文題目
甲第87号	小池 清廉	H19.9.18	博士(文学)	仏教思想と生命倫理 Bioethics from a Buddhist Viewpoint
甲第88号	彭 涛	H19.9.18	博士(文学)	景德鎮瓷業史の研究
甲第89号	高田 文英	H20.3.15	博士(文学)	浄土教における厭離穢土の教理史的研究
甲第90号	松尾 得晃	H20.3.15	博士(文学)	中国浄土教における凡夫観の展開
甲第91号	八力 廣超	H20.3.15	博士(文学)	中国浄土教における念仏思想
甲第96号	金 才権	H20.9.17	博士(文学)	中辺分別論における三性説の研究 —三性説の形成とその思想史的展開を中心として—
甲第97号	北村 一仁	H20.9.17	博士(文学)	南北朝国境地域の歴史的研究—「辺疆」と「荒」
甲第99号	佐々木大悟	H21.3.14	博士(文学)	『大阿弥陀経』の研究
甲第100号	中路 基夫	H21.3.14	博士(文学)	北原白秋 —象徴派詩人から童謡・民謡作家への軌跡—
甲第108号	大谷 由香	H21.9.17	博士(文学)	中世律宗における戒体思想の変遷
甲第109号	天野 信	H21.9.17	博士(文学)	大本経の研究 —過去仏思想と仏伝との関連性—
甲第110号	高岡 善彦	H21.9.17	博士(文学)	三論教学における空性と修道の研究
甲第111号	岡崎 秀麿	H21.9.17	博士(文学)	石泉助正論の研究
甲第112号	黒田 義道	H21.9.17	博士(文学)	浄土真宗における導き手の教学史的研究
甲第113号	浜畑 圭吾	H21.9.17	博士(文学)	読み本系平家物語の生成に関する研究
甲第114号	浅井三津恵	H21.9.17	博士(文学)	Wordsworth's Travel Poems in Scotland
甲第115号	北村 文雄	H22.3.20	博士(文学)	親鸞教義における二諦説と一異の論理
甲第116号	大谷 欣裕	H22.3.20	博士(文学)	平安期真言教学の研究 —東台西密の教学交渉—
甲第117号	野呂 靖	H22.3.20	博士(文学)	日本中世華嚴学における成仏説の研究 —高山寺系華嚴学を中心に—
甲第125号	松島 央龍	H22.9.17	博士(文学)	無表の研究
甲第126号	三浦 和浩	H22.9.17	博士(文学)	日蓮思想の研究
甲第127号	コンカーラッタナラック プラボンサク	H22.9.17	博士(文学)	止観の研究 —初期経典から註釈文献へ及び現代タイ仏教の 実践法—
甲第128号	万波 寿子	H22.9.17	博士(文学)	西本願寺の出版と近世期京都の出版業者
甲第132号	木許 守	H23.3.19	博士(文学)	古墳時代における畿内政権の勢力拡大過程の研究
甲第133号	池田 将則	H23.3.19	博士(文学)	南北朝隋唐佛教史の研究 —敦煌出土「攝論宗」文献の基礎的研究—
甲第136号	藤田 真証	H23.9.16	博士(文学)	西吟教学の研究 —近世初期教学の課題—
甲第137号	金沢 豊	H23.9.16	博士(文学)	『中論頌』における「見」の研究
甲第138号	金子 大輔	H23.9.16	博士(文学)	阿闍仏の研究
甲第139号	近藤俊太郎	H23.9.16	博士(文学)	天皇制国家と「精神主義」 —清沢満之とその門下—

報告番号	氏名	授与年月日	学位の種類	論文題目
甲第140号	高山 嘉明	H23.9.16	博士(文学)	幕末期朝廷の政治史的研究
甲第143号	襲 慶娥	H24.3.17	博士(文学)	Prajñākaragupta の分別 (kalpanā) 論
甲第154号	岩田 真美	H24.9.19	博士(文学)	幕末維新时期における真宗護法論の研究 —超然と月性の排耶論を中心に—
甲第155号	小野嶋祥雄	H24.9.19	博士(文学)	法宝撰「一乗仏性究意論」の研究
甲第156号	村上 明也	H24.9.19	博士(文学)	章安灌頂の教学に関する研究
甲第157号	井上 綾瀬	H24.9.19	博士(文学)	薬健度の研究
甲第158号	吉田 哲	H24.9.19	博士(文学)	ジネーンドラブッディの認識論
甲第159号	櫻井 清華	H24.9.19	博士(文学)	『源氏物語』宇治十帖の親子関係と性 —フェミニズム批評の視座から—
甲第160号	武田 一真	H25.3.16	博士(文学)	真宗別途義の研究 —真言密教との対比を視座として—
甲第161号	亀山 隆彦	H25.3.16	博士(文学)	密教思想の日本的展開 —即身成仏を中心に—
甲第169号	桑原 昭信	H25.9.19	博士(文学)	親鸞の「十住毘婆沙論」「易行品」受用の研究
甲第170号	能美 潤史	H25.9.19	博士(文学)	「タスケタマヘ」の総合的研究
甲第171号	吉田 唯	H25.9.19	博士(文学)	中世文学に見られるカミの享受
甲第172号	赤津 玲子	H25.9.19	博士(教育学)	システムズアプローチのトレーニングに関する研究
甲第176号	鎌和田聖子	H26.3.15	博士(文学)	東密と台密の相互影響から見た受容と研鑽の展開 —事相・教相両側面からの討究—
甲第177号	伊東 秀章	H26.3.15	博士(教育学)	ビハーラ活動における臨床心理学的考察
甲第178号	良田 玲子	H26.3.15	博士(文学)	The Deviation and Transformation of Romantic Poet George Gordon Byron : A Comparative Analysis of The Deformed Transformed ロマン派詩人 G.G.Byron の逸脱と変容 —「醜男変身譚」の比較分析—

『龍谷大学大学院文学研究科紀要』への投稿について

1. 応募資格

- (1) 博士後期課程在学者、研究生、満期依願退学者（退学後3年以内の者）。ただし、あらかじめ所属する専攻（満期依願退学者については在籍中に所属していた専攻）の承認を得ること。
- (2) 修士論文提出者で所属する専攻の推薦を得た者。

2. 執筆要項

- (1) 論文の種類は、研究論文、翻訳、研究ノートとする。ただし、翻訳、研究ノートについては、編集委員会で掲載本数を制限することがあるので注意すること。
- (2) 原稿枚数は、以下のとおりとする。
研究論文・翻訳：400字詰原稿用紙50枚以内
研究ノート：400字詰原稿用紙40枚以内
※いずれも註等を含めた枚数である。枚数は厳守すること。
※参考文献、引用、註等は、末尾に掲載すること。
- (3) 日本語原稿は、手書き、ワープロのいずれでもよい。
ワープロ原稿は、縦書きではB5サイズ1頁800字（50字×16行）、もしくは横書きではA4サイズ1頁1,200字（40字×30行）の設定で印刷すること。欧文（梵巴蔵文を含む）原稿は、タイピング、ワープロのいずれでもよい。A4サイズで1頁あたり33行とすること。
- (4) 原稿は、必ず綴じて提出すること。

3. 原稿の掲載

原稿の掲載の可否については、編集委員会の査読によって決定する。

4. その他

- (1) 本研究科の研究成果の公開方法として、国立情報学研究所を通じて電子化を実施する。掲載された論文等（書籍情報、画像情報、本文）の著作権（著作財産権、copyright）は個人に帰属するが、電子化し公共の利用に供する場合、掲載された論文等の複製権（注1）、および公衆送信権（注2）の行使を本編集委員会に許諾することとする。

注1 複製権：著作物を有形化し、再製することに関する権利

注2 公衆送信権：著作物を公衆向けに「送信」することに関する権利

- (2) 応募日程等は、12月頃に掲示する。

龍谷大学大学院文学研究科紀要内規

制 定 1999年12月 8日
一部改定 2001年 3月22日
一部改正 2005年 2月 7日
一部改正 2007年 7月 4日

(目的と名称)

第1条 龍谷大学大学院文学研究科院生の学術研究を奨励し、その成果を発表する趣旨のもとに年1回これを発行する。

2 この学術雑誌は「龍谷大学大学院文学研究科紀要」(以下「紀要」という。)と称する。

(紀要の構成)

第2条 「紀要」には、論文その他の研究成果(以下「論文」という。)ならびに課程博士論文要旨(以下「要旨」という。)を掲載する。

(論文提出資格)

第3条 「論文」を提出できる者は次のとおりとする。

- (1) 大学院文学研究科在籍者。
- (2) 大学院文学研究科研究生。
- (3) その他編集委員会が認めた者。

(編集委員会)

第4条 紀要の編集に関する事項を管掌するため、大学院文学研究科紀要編集委員会(以下「委員会」という。)をおく。

- 2 委員会は大学院文学研究科所属の専任教員(各専攻より1名)により構成する。
- 3 委員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選による。
- 5 委員会の招集は、委員長がおこなう。

(論文の掲載手続き)

第5条 「論文」は、委員会の定めた募集要項に基づき、本規程第3条に該当する者によりこれを公募する。

- 2 前項の「論文」はあらかじめ所属する専攻(満期依願退学者については在籍中に所属していた専攻)の承認または推薦に基づき、委員会が査読し承認したものを掲載する。
- 3 「要旨」は、原則として前年度課程博士修了者全員の課程博士論文要旨を掲載する。

(事務)

第6条 紀要に関する事務は研究部(仏教文化研究所事務室)がおこなう。

付 則

第1条 この規程は、2000年4月1日より施行する。

付 則 (2001年3月22日第6条改正)

この規程は、2001年4月1日より施行する。

付 則 (2005年2月7日タイトル、第2条、第4条、第5条、第6条改正)

第1条 この規程は、2005年11月1日より施行する。

付 則 (2007年7月4日第5条改正)

第1条 この規程は、2007年7月4日より施行する。

【編集後記】

『大学院文学研究科紀要』第36集を世に送ります。

ワープロ機能を有すパソコンの普及により、自分の論文を活字で見てもそれほどの感激はないかもしれませんが、論文集という形で出版されるのは大きな感激です。著者の皆さんは多くの先行研究の論文を読み、自分の考えをまとめる作業をしてこられました。この作業は論文の読み方をより敏感にしてくれたでしょうし、どのように書けばうまく伝わるのかと書き方にも、より、磨きがかかったことでしょう。小さな一歩ですが、それぞれの研究分野に大きな一歩を踏み出されました。

奇しくも、この時期に青色LEDで3人の日本人にノーベル物理学賞受賞の報道がありました。明るくて熱をもたず、電気代のコストが安いので信号機、イルミネーションにも使われ、家庭でも蛍光灯からLEDに替わりつつあります。このように、見える形での発明・発見への評価は高いのですが、見えないものには評価が低いようです。ニュートリノの観測に成功したことにより、2002年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊氏にテレビ局の記者がこれは一般社会でどんな役にたつのかと聞いているのを見たことがあります。小柴氏は慄然と何の役にもたちませんよと語っておられたのが印象的でした。学問は役に立つか立たないのかの物差しで測れないと暗におっしゃっていたのでしょうか。

英文タイトルではいつも困っておりましたが、今回強い助っ人のおかげで著者の意図を英文でよりよく表してもらえました。仏教文化研究所事務室の中嶋さんには出版を滞りなく進めて頂きました。有難うございました。

(藤谷聖和 記)

龍谷大学大学院文学研究科紀要編集委員会

委員長 藤谷 聖和

委員 川添 泰信・能仁 正顕・伊藤 邦武

郷式 徹・東 豊・平林 章仁

北村 高・大取 一馬

龍谷大学大学院文学研究科紀要 2014年度

第36集

平成26年(2014)12月16日 印刷

平成26年(2014)12月24日 発行

編集 龍谷大学大学院文学研究科紀要編集委員会

600-8268 京都市下京区七条通大宮

東入大工町125番地の1

TEL.075(343)3311 内5400

FAX.075(343)4022

印刷 (株) 図書印刷 同朋舎

CONTENTS

Articles:

- Shimaji Daitō and the Thought of His TimeSatoshi KAWAMOTO··· 1
- The Literary Significance of Shinran's *Kenmonshū*Yui NISHIKAWA··· 16
- The Quota System of Imperial Examinations in the Sung Dynasty
.....Miki MATSUNO··· 30
- Shimaji Mokurai and the Development of the Historical Study of Shin Buddhist
Thought during the Meiji PeriodKota UCHIDE··· 47
- The Problem of Receiving Merits Created by Others (*tasa-jiju*) in Jōdo Shinshū
Doctrine: Shinran's Understanding of the Theory of Causation
.....Masaharu ITO··· 63
- A Study of Shinran's Thought on "Being the Same as Maitreya" and "Being
Equivalent to Buddhas"Takayuki KUSAKA··· 77
- Theories of the Ten-kalpa-old Buddha versus the Eternal Buddha (*jikkō kuon ron*)
among the Early *Nōke* Scholars: Focusing on the Interpretation by Master Gessen
.....Go IWATA··· 93
- The Soga Clan Reconsidered: The International Consciousness of Iname and
Umako and the Influence of Buddhism.....Kiwako FURUKAWA··· 109
- Movements of the Influential Powers in Omi Katata and Other Related Areas in
the Medieval Period: Over the Rights and Interests on Lake Biwa
.....Keiichiro WATANABE··· 126
- On Teika's Waka "Willow in a Field" (*yagai no yanagi*): Teika's Intention and
Gotoba-in's InterpretationHisao MIZOBATA··· 143

Dissertation Abstracts:

- Shinran's Use of "Chapter on Easy Practice" in the *Commentary on the Ten
Bodhisattva Stages*Akinobu KUWAHARA··· 157
- A Comprehensive Study of the Concept of "Tasuketamae"Junshi NOUMI··· 166
- The Enjoyment and Acceptance of *Kami* in Medieval Literature ···Yui YOSHIDA··· 174
- The Development of the Adoption and Study of Esoteric Buddhism in the
Mutual Influence between the Tendai and Shingon Schools: Examinations
of Both *Jisō* (practice) and *Kyosō* (doctrine)Seiko KAGIWADA··· 183

Articles:

- A Case Study of the Marriage Ritual in a Oraon Buddhist Community in Bangladesh
.....Shantu Barua... 1
- A Reconsideration of the Concept of *Sad-asat-tattva of Pariniṣpanna-svabhāva* in
The *Madhyāntavibhāga-sāstra*Vo Thi Van Anh... 27
- A Study of Daily Stress and Stress-management for Caregivers Working in
Nursing Homes for the ElderlyHideaki ITO... 43
- A Study of the *Songxishian*Tadashi FUJIMOTO... 59
- A Study of Depictions of Rituals in Gandhāran Buddhist Sculptures: Focusing
on the Scene of “Siddhārtha’s Marriage”Ayaha HAMAMOTO... 75
- A Study of the *Tathāgata-garbha* Theory in the Chinese Yōgācāra School:
Focusing on the Adoption of the *Lankāvatāra Sutra*Zijie LI... 91
- Religious Education Conducted by Lay Followers in Sri Lanka: A Field Study of
Daham pāsala (Dharma Schools)Akichika YOKOO... 107
- The Relationship between the Perception of Deceptiveness and Communication
Skills: Focusing on Deceptive Communication in Romantic Affairs
.....Satomi ODA... 123
- Feelings of Inferiority in the Perception of the Real Self during Adolescence:
From the Perspectives of Comparisons with the Ideal Self and Other Individuals
.....Ayaka KAWAI... 147
- A Study of the Reliability and Validity of the New Personal Fable Scale for Japanese
.....Satoshi MUROYA... 163
- Charity in the United States : Philanthropy as a Means to Individual Empowerment
.....Ayako KAMEI... 185

Dissertation Abstracts:

- A Study of Clinical Training in the Systems ApproachReiko AKATSU... 210
- A Clinical Psychological Study of Vihara ActivityHideaki ITO... 218
- The Deviation and Transformation of Romantic Poet George Gordon Byron:
A Comparative Analysis of *The Deformed Transformed*
.....Reiko YOSHIDA... 227

ISSN 1348-267X

RYUKOKU UNIVERSITY
THE BULLETIN
OF
THE GRADUATE SCHOOL
OF LETTERS

No. 36

2014年度

THE GRADUATE SCHOOL
OF
RYUKOKU UNIVERSITY
Kyoto, Japan